



河東地域シンボルマーク

# みんなでやっぺ!



## 会津慈母観音と春の会津村

河東地域のシンボル・会津慈母観音がある「やすらぎの郷 会津村」は、美しい桜の名所の一つです。

## 河東地域づくり委員会の会員を募集

河東地域づくり委員会では、河東地域をみんなで考え、ずっと住み続けたい元気なまちにしていくために、さまざまな活動をしています。一緒に活動してくれる会員を随時募集しています。

▶応募資格…河東地域に住んでいるか、通勤している人※河東地域出身の人も可

▶申し込み方法…河東地域づくり委員会事務局(〒969-3481 河東町郡山字休三石14 ☎75-2113、FAX 75-3158、メール kawahigasi2013@gmail.com)に郵送か電話、ファクス、メール、窓口で申し込み※住所、氏名、連絡先(電話番号、メールアドレスなど)



私たちと一緒に活動しませんか

## JR東日本からのお知らせです

JR東日本では、堂島駅の待合室の建て替え工事をします。工事に伴い、待合室を使うことができない期間が発生します。詳細は、駅に掲示してある「お客さま案内」をご覧ください。

また工事期間中は、ホームの一部が狭くなりますので、駅を利用する際は、ご注意ください。

▶工事期間…5月中旬～9月中旬(予定)

## 【編集・発行】

河東地域づくり委員会(事務局：河東支所)  
電話 0242-75-2113 / FAX 0242-75-3158  
メール kawahigasi2013@gmail.com

フォローお願いします!

Facebook



Instagram



note



X

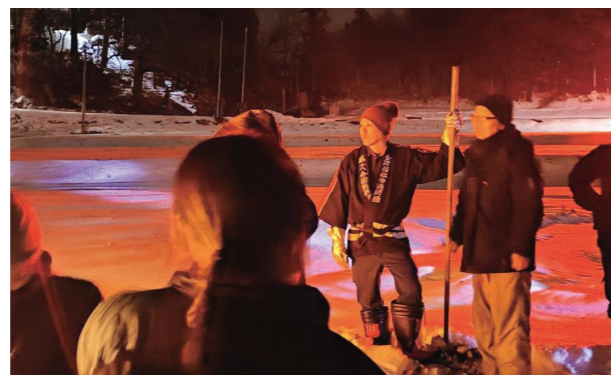


## わたるの集落訪問日記

集落支援員・小林弥が訪れた集落の話題などを紹介します。

### 伝統の冬の風物詩を開催

1月15日、八田野集落で伝統行事「歳の神」が開催されました。当日は、中・高生たちの姿もあり、餅やスルメ、マシユマロを和気あいあいと焼く姿がとても印象的でした。にぎやかな一方、「担い手不足」という切実な問題もあります。現在は、育成会の保護者の皆さんと子どもたちや、集落役員、消防団が協力し、開催を維持している状況です。準備に欠かせない「わら」の確保も年々難しくなっており、近隣では開催を断念する集落も出てきています。大切な伝統行事が続いていくことを願いつつ、会場を後にしました。



歳の神では、地元消防団も活躍します

### 岡田集落の収穫祭で交流

昨年11月9日、岡田集落の収穫祭にお邪魔しました。自主防災組織を設立している岡田集落では、炊き出し訓練や人命救助などの防災訓練も合わせて開催しました。

参加した皆さんは、杵と臼でついた餅や手打ち蕎麦、芋煮などに舌鼓を打ちながら、交流を楽しんでいました。



人命救助の講座

みんなで餅つきをしました

## 地域の宝

皆さんから寄せられた地域の宝を紹介します。

### 笑顔あふれる、会津かわひがし八日市

1月8日は、JR広田駅前通りで、年始恒例の会津かわひがし八日市が開催されました。当日は雪が舞う大変寒い一日でしたが、だるまや起き上がり小法師などの縁起物を買いたい求める人々にぎわっていました。

あいつ商工会主催の商業まつりの福引抽選会も開催されて、当選を告げる鐘の音が高らかに響いていました。



恒例行事の八日市は、河東地域の宝ですね



会津河東史談会のコーナーで

## ★ 学生が河東地区文化産業祭に参加

昨年11月8日、河東公民館と河東保健センターを会場に開催された「河東地区文化産業祭」に会津大学短期大学部産業情報学科成澤ゼミの学生が参加しました。河東地域の実態調査の一環で訪れた学生たちは、会津河東史談会や食生活改善推進員など地域で活動する皆さんの説明を熱心に聞いていました。

## ★ Jヴィレッジで河東地域をPRしました

昨年11月24日、双葉郡榎葉町にあるJヴィレッジで「東京 2025 デフリンピック」の男子サッカーの試合が行われました。河東地域づくり委員会と会津大学短期大学部の成澤ゼミ、河東町の6次化農家の「もちもち屋」が会場にて河東のPRをして来ました。地域づくり委員会では、河東地域イメージキャラクター皆鶴姫のエコバッグや缶バッジなどを販売しました。



外国人にもPRできました



大学生事業1年目の学生たち

## ★ 会津大学短期大学部成澤ゼミが大学生事業活動報告会に参加しました

2月11日、福島市のコラッセふくしまで、県主催の「大学生と集落の協働による地域活性化事業(大学生事業)」の活動報告会がありました。令和7年度、成澤ゼミでは、フィールドワークや地域住民との意見交換を通して、河東地域の活性化策を考えてきました。ゼミ代表の小原さんがこれまでの活動の成果を発表しました。成澤ゼミは、令和8年度も河東地域と一緒に活動していきます。

## ★ 地域づくりの先進地を視察しました

昨年10月1日、山形県川西町の「きらりよしじまネットワーク」へ視察に行ってきました。「きらりよしじまネットワーク」は、全国的にも有名な地域運営組織であり、自主財源の確保や、行政や企業との協働のパートナーとしての役割など、学ぶところが多くありました。参加したメンバーは、「今後の地域づくりの参考にしていきたい」と話していました。



川西ダリア園も見学しました



代表してあいさつをする渡辺会長

## ★ 地域づくりフェスで日頃の活動を紹介

昨年12月14日、会津若松市役所本庁舎多目的ホールで「地域づくりフェス」が開催されました。市内の地域運営組織の活動を体感できるこのイベント。各地域の特産品の販売や活動紹介、地域づくりコンテストなど盛りだくさんな内容でした。河東地域づくり委員会では、渡辺会長や各部会長が参加し、日頃の活動の成果を来場者に紹介していました。

## ★ 道の駅で現代版「凍み餅」を販売しました

昨年12月15日、道の駅あいづ湯川・会津坂下で、河東地域イメージキャラクターの皆鶴姫のPRと会津大学短期大学部産業情報学科成澤ゼミがフクラム基金を活用して開発した現代版「凍み餅」の販売をしました。「みなづるひめのおやつ」というネーミングで販売した凍み餅は、開始1時間程で完売。購入者の中には、皆鶴姫伝説に興味を持って、さまざまな質問をしてくれた人もいて、学生たちは嬉しそうに対応していました。



楽しく販売できました



楽しそうに販売する学生たち

## ★ フクラム基金事業の成果発表会

2月2日、福島市のコラッセふくしまで、「ふくしまの未来を創るフクラム基金事業成果発表会」が開催されました。今年度、成澤ゼミは、フクラム基金の採択を受けて、塩庭地区で米の6次化に取り組んでいる「もちもち屋」との協力でその想いを形にしました。その過程をスライドにまとめて発表し、コラッセふくしまの店頭で現代版凍み餅「みなづるひめのおやつ」5種類を販売しました。

## ★ あいづタノシムで河東地域をPR

2月1日、アピオスペースで開催された市民活動推進のためのイベント「あいづタノシム」に参加してきました。熊野堂のアグリピュアハウスの新米コシヒカリや八田野みそ工房の八ちゃんみそ、麺工房Zenの手打ちラーメン、河東地域イメージキャラクター「皆鶴姫」のグッズ、会津大学短期大学部成澤ゼミが開発した現代版凍み餅「みなづるひめのおやつ」を販売しました。当日はまさに大盛況で、早々に完売する商品もありました。



フォロワーキャンペーンも実施しました